

Ninomiya new town hall project

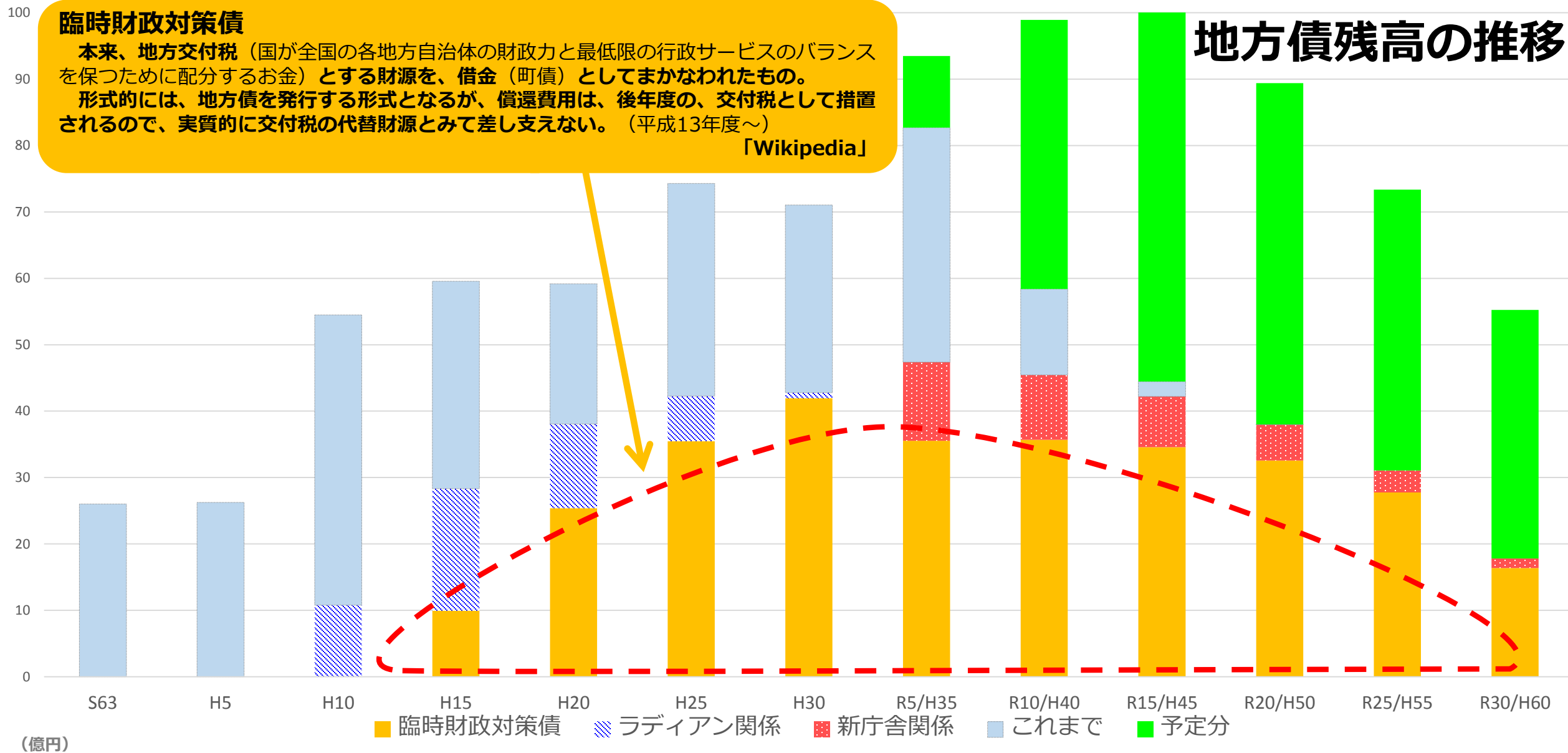
臨時財政対策債

本来、地方交付税（国が全国の各地方自治体の財政力と最低限の行政サービスのバランスを保つために配分するお金）とする財源を、借金（町債）としてまかなわれたもの。

形式的には、地方債を発行する形式となるが、償還費用は、後年度の、交付税として措置されるので、実質的に交付税の代替財源とみて差し支えない。（平成13年度～）

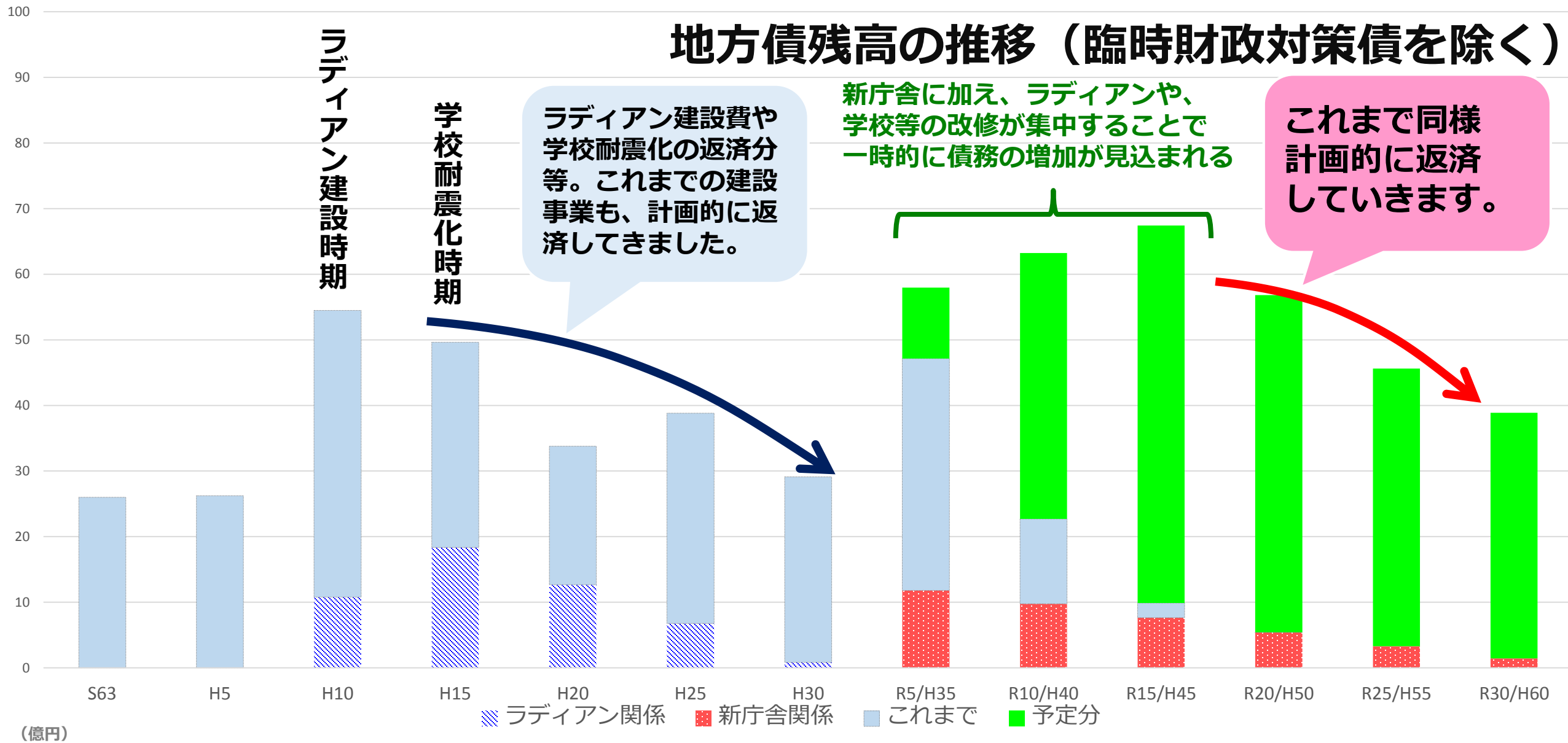
「Wikipedia」

地方債残高の推移



Ninomiya new town hall project

地方債残高の推移（臨時財政対策債を除く）



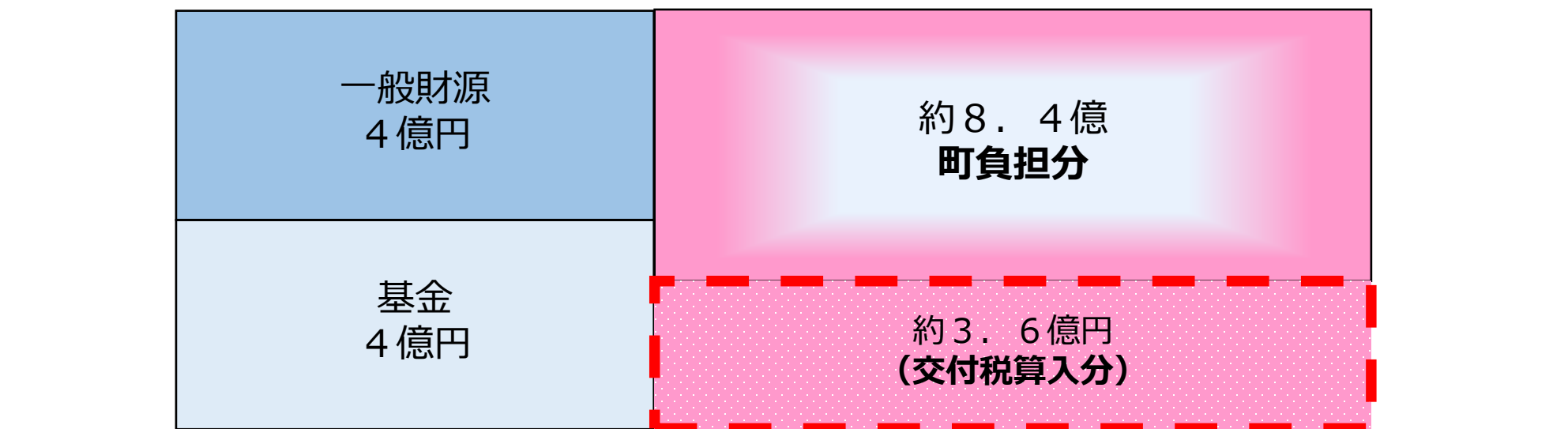
事業費の内訳について

庁舎建設事業費：約20億円

自主財源：約8億円

地方債：約12億円

市町村役場機能緊急保全債
(約4,000万円×30年償還)



床面積のまとめ

役場組織の他施設活用パターン例

保健センター：378m²

- ・保健センター分 235m²
- ・保健センター事務室 143m²

議会：562m²

教育部：422m²

- ・教育委員会322m²
- ・教育支援室（やまびこ）100m²

都市部：324m²

※生活環境課を除く

新庁舎の床面積削減のため、町民ワークショップで検討していきます。